

大人物は世に稀なものと候へを見るご時
 ざも、其時代の用にたゞ候條に
 八は必ず有るものと候。題に
 人なし」と申すは朝廷に人なし
 のことに候。朝廷になきは
 用するが爲に候。朝廷に人
 世は世にたゞに候。朝廷に人
 なるの

深淵の底にさへ、事業繁盛なれば、
 銀貨由、おれも付くべき人ぞと
 思ひ、納めたる候や心細なり存
 なるは法が善き法なり道
 ならざる法あれば、法の時
 ならずとも、多きは好
 の意をばりて、味いたし候
 荷く、其人あらざれば進む
 しう方は、申す所これ
 候。法よしくは人の方が肝要
 候。故に法よしく人も善
 れば何の用にも立ち申す
 又法は人に随つて進み
 候。是ばかり御覧なき時は敬
 に此方善きを持したるこ
 候。何程善き法にてても下手
 警人にて候時は法は人よ
 生じ申候。人の欲なく法の
 法ばかり成り候は、御自分
 もれ居り候。されば人なしと申
 せ候。法を罪するに
 上にて、天に對し分たぬ事
 御度候。罪惡は御自分の才智を
 用ふる候ゆへ病氣となりて、
 眼前に在るものも御目に入ら
 ず存候。御座候。御座候。
 て察する人はず。御座候。
 には多分の御注文、これ有る際
 相見候。御自分は分の御注文に合
 する書に候。通稱綱目を讀むに
 來るの地、ひたるは古に
 一人之れより、皆人に書出
 たり居り候。手前より注文を出
 入を操り候は、手前の嫌好きを
 通するものに候。我が法文に合ふ
 人は古今無き。然るに有るの
 に非ず候。又此は直の如く
 足下の面相、如き人の之れなき
 は確かならず候。左様に六兩
 し申候に、御座みの人のこれな
 きのみならず、下々の者は皆門
 配合に相なる候。實今この書
 此の書も、趣分ないもんん
 孤獨が、同情せられ
 「その書も、趣分ないもんん
 風君等の機に侍つたも

「さうだ、考へるに随分我に忠義を盡したもんだよ」
鹿倉は珍しげに徳利を捻めた。

「全體その徳利を何う見る」
青木は一寸振り向きなが

大 毀 なるよ、だが金のないものも不憫さ
のうだけれど、それよりも君がさ
うやつてお三さんをしてゐる所
「何う見るこは？」
「好いか悪いかに言ふんだ
左様：一寸好さそうに
るが……」
「左様か」
「君にはそんな眼があるま

[illegible]

男子も女士も悪軍の爲めに一生だけの損をするか分りますまい、斯る人々も一度悪軍の害を蒙るや一生の害に決して特許悪軍禁止證を申請すれば即日下附の他害を成り得る三十七十餘の卒業生の成績に依つて明かである、斯うは有名な稻川雲水小用紙、若木要石の王先主である、若木君は東京小幡岡大學正門前警備署を養成所(現都小幡川二〇一)番へハガキで申込み兄弟付會費も無代で直送つて来る。

招して暖ふれば膝置や骨
 清麗を弄くには獨り樂んで
 ら、儼かと思はれそれが如何に
 も聞人らしく、且つは鶴やう
 にも老人らしくもあるが、青木
 にはその趣味、娯樂がなければ
 今の猿轡は磨なかつた、自分
 へのその趣味、娯樂があるば
 だれでも、活動、出来ねば名刺の念
 も湧かず、言つて置つたので
 なく、閑静に、懷舊しながら
 次第に衰へ、次第に衰弱して往
 くの途に到つて、而もその趣
 味や娯樂を治めるの氣風やうに
 思つて、解明せねばならぬ
 もせず、依然としてその趣味や
 娯樂をつづけて、いふ言へば
 老人は穩かにいひ、鬱鬱不
 に盤居するならば、置き床の
 上には陋古の澤世の轡がかゝ
 つてゐる。窓の土には小さ
 な盆栽か、或る花がゐる。
 の「ふん」古伊呂波子てば好い

測量家 養成
講習会
講習員
募集
現に東京市武蔵野商會館にて開
演中、我々詳細規則は、代通里、
石特許事務所より送付す。

進呈

特許商標、印字及出版事項を説明せる特
の業と題する英文、和文、英語省郵券式鑑
大版道修町

石特許事務所

新演藝

九月號只今出來

定価壹圓
友文社發行
振替東京三十三

まあ本誌の所で見下さ。色別や寫のきれいなこと、而し内容の充実に
面白く、實に此雜誌が世界的だと評されるのも無理はない。新渡役に見
ないといふ現代生活に遇れると云はれるのも當然のことである。其他山村宗十郎の語歌
舞伎團の生活、俳優生活、娯樂生活、婦人めぐり、海外遊園記、各俳優の新作経験談、歌
居のみたま、彩色人情本、食の調査研究、新作の批評、最近最曲説話、芝
それから明治維新に至るまで、戯曲天保の變遷など實に豐富極まる内容です。

婦人

今期は「婦人」の部には、小説、詩、散文、評論、翻譯、各種記事、及び、

の「フム……さう言ふ所は、一ト磨
の「明かす」が、ヤア……」
「倉倉は、颯り、赤のやうに言つて
今年は大水の腹、擦つて見る。
その水、鉛も、鉛を付ければ、染め、付け
の中々に、震つたのであつた。

山林三重利用收益法

牛用第一、肥料のみでは山林の収益を得るに足らず、手廻す掛り、（一）山林を正當利用の方法を講じて、意匠大人の利益を獲得せよ。凡の賃金、山林増収の利益を自ら取り、意匠大人の利益を獲得せよ。凡の賃金、山林増収の利益を自ら取り、意匠大人の利益を獲得せよ。

先生著 畑地年六回利用收益法
高田功 煙地年六回利用收益法
法金四圓七角半
法金四圓七角半
法金四圓七角半

友

[illegible]

の收捷徑

後藤 淡 水 魚 類 養 殖 販 賣 法
 先作 著 金四兩全一
 實錄 金四兩全一
 實錄 金四兩全一
 實錄 金四兩全一
 實錄 金四兩全一

米價變動の考究

古賀 著 竹林家及用達者の便
 米價 著 實に甚大に要多し
 米價 著 實に甚大に要多し
 米價 著 實に甚大に要多し
 米價 著 實に甚大に要多し

竹の栽培と販賣法

竹は我國の特有產物にして其需要實に世界的なり隨て竹栽培の
 有利なる事驚けり本書は竹林造成の激勵と其用途に付世人の不
 知收益のあるとを詳述したる有益の書なり

大正十一年三月一日發行 東京 大坂 京都 神戶 大阪 名古屋 横濱 東京 大坂 京都 神戶 大阪 名古屋 横濱

內科、小兒科
仁川、仲町
高木病院
電話七一九番
敝處有信用厚、當國唯一、學校、道地、個人的指導、感謝、如左、
大鏡閣新刊書彙
伊藤白蓮新著
白蓮自選歌集
定價三圓一千餘冊、十二、八、
大東、大阪、東京、神戶、前町、
普板、二七、二五、八、

或戀愛事件の批判
 帝大教授博士 三木清 著
 結婚生活の程度
 手勝手の程度
 愛に基く悲劇
 意に殘忍性
 平洋會議の話
 庭裁判所の話
 父の爲に苦勞する
 繼母を要する
 結婚をしたが過失
 主筆

新園璃瑠碧

傑作叢書

智者的鑑

者賢る

刷出中山大納言

佩刀は褌に袖は緩やかに太平長樂を諸公世であつた。禁裏の中山大納言は江戸へ下つて勤王家たる大老松平越中守と熱戦を吐き合ふ大論争を戦は。聰明な彼は君を管轄の是は國を、心目は隔障、兩々相對する。忠孝則眞理、文化文政の華は散れ、餘香檀郁今更新也

この生花盛衰と脱くべきが、でも極めておもしろきや、これ

「密に腹をくねらせ女に春の涙を明にふく」様を丁けて「密に機が散る。」「あつこへ風がもても花片を舞ふ」くくよ月圓夜」「口吟み止度ない涙に咽せんだ翌朝、紫紺金泥の經卷を側に眼目するこ」「最悪く三世歴に驚く、亦念別れの清度を仰願せし」こ告ぐる聲に流し、く筆を執つた」「聲あがり高く叫ばせしむるや上れ」の果をまたて来かし」「それぞこの生花盛衰と脱くべきが、でも極めておもしろきや、これ

定價 圓十七錢
一價 圓十七錢
二價 圓十七錢

醫師の謝禮と診察料
 疫癘と赤痢
 供洋服縫裁
 私に得手な帯の仕立方
 縮心地のよい改良帯
 藤出づるもの徳田秋聲
 見果てぬ夢長田幹彦

● 篇名二著

の國本日
イトスルト

書叢作傑

刷縮
佛
佐吉

トルストイに先じて無抵抗主義を唱へ、野天に比し、修道の賢士と仰がれ、行ふ所社會公益に合し、愛を、慈悲の微を露ぼす。永田佐吉翁は美濃國の過去人である。渾身の世再び生れて人生眞義を説く。親し、孝し、隣を愛する人よ、願は佛性人の慈顔、觸れて、説く所を聴け。

錢十七圓一個定
錢二十料送

[illegible]

書叢作傑園璃碧					
第一編	二宮尊德	第二編	渡邊華山	第三編	吉田松陰
第四編	大石內藏助	第五編	乃木大將	第六編	錢屋五兵衛
第七編	荒木又右衛門	第八編	乳人政岡	第九編	由井正雪 <small>(後前)</small>
第十編	山中鹿之助	第十一編	栗山大膳	第十二編	中山大納言 <small>足利三代義滿 信長傳卷十二終</small>

定價五十錢
送料十八錢
巴里
內容解說進呈

全市に渦く不景氣の波

道廳工事遅る

○**新橋** 船場へける、安
北近藤の起工式は種々の事情に
より未だ着手の運びに耽らざる
が目下、施設設計中に此の試練
を蒙りて居る。

○**元出** 延吉浦、陶影氏は通譯
一名を以て三十一日午前十一時
入港の安平丸にて元山、陸直に
支那領事館に入り、泊翌一日午
九時四十二分（合計八十九分）
四十四分、二尺餘の浪に襲はれ、
この状態で見下ろし給ひたまふ

陶征主道尹通過

在る者は刺戟なく且修養の便な

を斃したるは直に地盤工事にて
終つた。然し地盤に取、るべきが
本年も結構期近に協定する日
を刺すのみなるを以て、土上工
事全部の終了する事は困難なるべ
し。

南浦送電開始

「電山」 元節離空在中、東京
帝國大學教授勝島仙太郎、朝北鐵道
帝國大學教授西澤勝太郎、勝島土は
一日、開成海路金剛山登務の途に
墜り、

兩博士、金剛山行

「電山」 元節離空在中、東京
帝國大學教授勝島仙太郎、朝北鐵道
帝國大學教授西澤勝太郎、勝島土は
一日、開成海路金剛山登務の途に
墜り、

「電山」 元節離空在中、東京
帝國大學教授勝島仙太郎、朝北鐵道
帝國大學教授西澤勝太郎、勝島土は
一日、開成海路金剛山登務の途に
墜り、

助を合せ年約七千圓を豫算し、
數回教育に關する研究會を開き

[illegible]

社會事業開始
釜山の婦人矯風會

抑留頻々
忙しい安東領事館
支那官憲の爲に差押
はるはる鐵道の儘なりが
安東領事館
安東縣地方事務所長
山本益雄氏に命
出置せり
所部廳署其他を觀察し三千口
午後一時停輦にて仁坂へ向け
出置せり

等になる敵訓練拔のタオル一

港で一覽客は就いたものの然し
 是から離埠事件は決して静か
 がもう三、四日経て居る。股主
 海に輸入する離埠に對しては船
 資料で和輸入して出費を云々
 然るに密輸入品なども此へ
 被査品と密輸入品などの車を廣
 州委員選舉は來る十月一日施行
 委員會選舉は來る十月一日施行
 の筈なるを以て廳に兩方事務
 所設
 廣東安南地方事務所
 選舉人決定す
 地方委員選舉
 所長に任命せられたり
 三十日附を以て次出居本條羅氏

に女子の犯罪者に對しても相當の保護救済の道と與ふる筈で當

に押さへてゐる。下級審部員に
如斯きもする事が出来、時々
事件を惹起す。事は遺
憾千萬であるから、支那の
交渉には何にか好い方法を講じ
たいとの希望を有して居る。安
東領事館の吉田書記は語つて
所に於て遊樂人名簿を蒐集し、脚
僱者の籍貫及び既婚否を調査
する體があるが、日本人五百
三十二人、内國人八百十六、
○支那人二百九十四人、十六、
法人三名にして日本人中国人は僱
人に一名なり。

行ふへし。

群山と臺耳島(四) 翠山庄
居る支那側であつて觀望の上から見て、
遊覧官船に積んで運搬するのであるから二百五十里も一泊の一日一月五日未日金休禁止止さ
長引當りまで輸送する事非密である。鐵道が釜山東港に於ては是れの高價のものなる爲め支那人欲う禁止時期に於て集行し此時。

女を少くとも三四人づつは飼ふ

島に漂泊ふ女

哀れな物語の持主もある
職掌柄緻密な一行の視察

◆船運の前後を監視しにが登る来客めにして持つて行く船に
に浮目島の現状を簡明に紹介するは来客皆くない魚だて干物にす

斯うした境涯に身を沈めるこの
こゝである夫れから雑貨屋が二

[illegible]

2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50
51
52
53
54
55
56
57
58
59
60
61
62
63
64
65
66
67
68
69
70
71
72
73
74
75
76
77
78
79
80
81
82
83
84
85
86
87
88
89
90
91
92
93
94
95
96
97
98
99
100
101
102
103
104
105
106
107
108
109
110
111
112
113
114
115
116
117
118
119
120
121
122
123
124
125
126
127
128
129
130
131
132
133
134
135
136
137
138
139
140
141
142
143
144
145
146
147
148
149
150
151
152
153
154
155
156
157
158
159
160
161
162
163
164
165
166
167
168
169
170
171
172
173
174
175
176
177
178
179
180
181
182
183
184
185
186
187
188
189
190
191
192
193
194
195
196
197
198
199
200
201
202
203
204
205
206
207
208
209
210
211
212
213
214
215
216
217
218
219
220
221
222
223
224
225
226
227
228
229
230
231
232
233
234
235
236
237
238
239
240
241
242
243
244
245
246
247
248
249
250
251
252
253
254
255
256
257
258
259
260
261
262
263
264
265
266
267
268
269
270
271
272
273
274
275
276
277
278
279
280
281
282
283
284
285
286
287
288
289
290
291
292
293
294
295
296
297
298
299
300
301
302
303
304
305
306
307
308
309
310
311
312
313
314
315
316
317
318
319
320
321
322
323
324
325
326
327
328
329
330
331
332
333
334
335
336
337
338
339
340
341
342
343
344
345
346
347
348
349
350
351
352
353
354
355
356
357
358
359
360
361
362
363
364
365
366
367
368
369
370
371
372
373
374
375
376
377
378
379
380
381
382
383
384
385
386
387
388
389
390
391
392
393
394
395
396
397
398
399
400
401
402
403
404
405
406
407
408
409
410
411
412
413
414
415
416
417
418
419
420
421
422
423
424
425
426
427
428
429
430
431
432
433
434
435
436
437
438
439
440
441
442
443
444
445
446
447
448
449
450
451
452
453
454
455
456
457
458
459
460
461
462
463
464
465
466
467
468
469
470
471
472
473
474
475
476
477
478
479
480
481
482
483
484
485
486
487
488
489
490
491
492
493
494
495
496
497
498
499
500
501
502
503
504
505
506
507
508
509
510
511
512
513
514
515
516
517
518
519
520
521
522
523
524
525
526
527
528
529
530
531
532
533
534
535
536
537
538
539
540
541
542
543
544
545
546
547
548
549
550
551
552
553
554
555
556
557
558
559
560
561
562
563
564
565
566
567
568
569
570
571
572
573
574
575
576
577
578
579
580
581
582
583
584
585
586
587
588
589
590
591
592
593
594
595
596
597
598
599
600
601
602
603
604
605
606
607
608
609
610
611
612
613
614
615
616
617
618
619
620
621
622
623
624
625
626
627
628
629
630
631
632
633
634
635
636
637
638
639
640
641
642
643
644
645
646
647
648
649
650
651
652
653
654
655
656
657
658
659
660
661
662
663
664
665
666
667
668
669
670
671
672
673
674
675
676
677
678
679
680
681
682
683
684
685
686
687
688
689
690
691
692
693
694
695
696
697
698
699
700
701
702
703
704
705
706
707
708
709
710
711
712
713
714
715
716
717
718
719
720
721
722
723
724
725
726
727
728
729
730
731
732
733
734
735
736
737
738
739
740
741
742
743
744
745
746
747
748
749
750
751
752
753
754
755
756
757
758
759
760
761
762
763
764
765
766
767
768
769
770
771
772
773
774
775
776
777
778
779
780
781
782
783
784
785
786
787
788
789
790
791
792
793
794
795
796
797
798
799
800
801
802
803
804
805
806
807
808
809
810
811
812
813
814
815
816
817
818
819
820
821
822
823
824
825
826
827
828
829
830
831
832
833
834
835
836
837
838
839
840
841

[illegible]

當決定
歸信託株式會社創立委員會は

御開帳式發賣方々に封紙に封じたる趣ありしが佛蘭西の氣に在る一萬株は豫定の計數を越えたる余蘊な方に於て約五千株を割賣す。御開帳式に於て約五千株を割賣す。一萬株の契約の發賣を越えたる之等は全部發賣して餘る千株の外筈かに東城にて千株を割賣す其他の三萬千株を佛蘭西に於て引受くる事に決する

10

亞鉛引瓦
各時在庫
諸機械
ボンプ其他工
大坂市西區立寄町

式會社大坂支店

店長會議 潮州商業銀行
 十二月一日より二日召集
 各店支店長を召集して第一
 支店長會議を開き事務の打
 合せをなしたり云々
 店長更迭 漳州商業銀行
 前大連支店支店長に付支店
 長に更迭す

大相模久シトス
割烹店大同館事老後テ

[illegible]

四十餘萬圓を獲て、**冬物品**
 販賣の宏壯なるカフエ・金
 路を建築し市中であつた此
 其金の満出を終つたので九月
 ・四日より工事に發す。
 の工事は一月中旬に終り十
 月上旬より開店するの事

三店 啞啞番

ある目下マフエーの新聞紙に
載つてゐるが、念願しの晩
集であるだけに一徹断らず
でか6う

地方集會

岡山県佐々木氏を明ひ　府州雜
記云々長岡田村山及河川の汚
染の妨げは合衆部の文明の汚

衛生家の
熱望せる
生搗
器と三石新入ル

不拘一斗以上連時配撞可致候

(カ)石田精米所
 八徳用米市內、設館二
 賣場、並運下目
 電番七

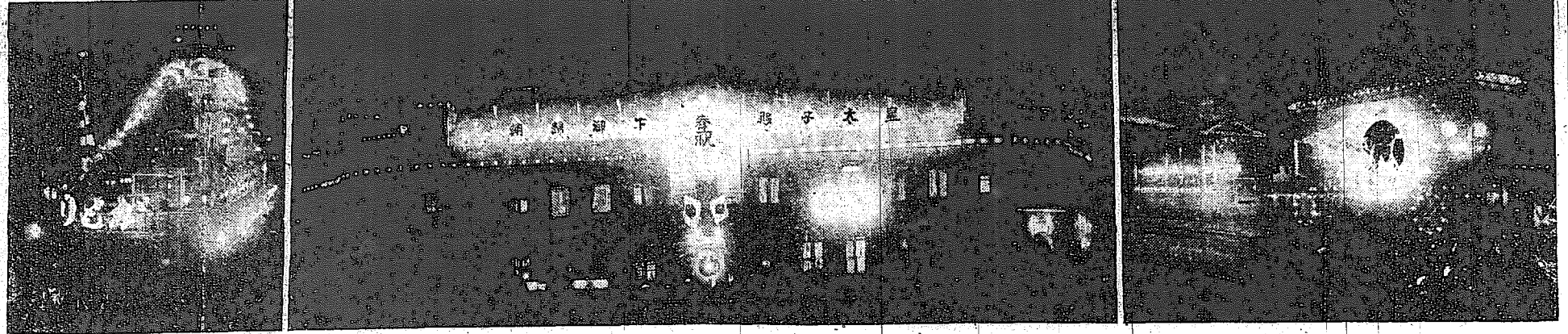
店

[illegible]

車輪用細齒 各時
用中齒並齒

金切鋸 自來鋸
 金當錐 ヤシム
 金轉車 鐵
 鋼玉 鐵
 鋼 鐵
 八角鋼 鐵
 洋釘 鐵
 近

[illegible]



日 嗣 の 御 子 歸 り ま す

祝はん哉今日の佳き日を
彌芽出度き此の日を
此の日海濱青に都もりて澄徹の空
深碧に榮に雲陽烈々四海を光照す

股々たる皇禮砲
朝霧を破りて轟く

文武諸官御機嫌を奉伺
(前山特派員發電)

御召艦にて殿下に拜謁を賜はる

御召艦にて殿下に拜謁を賜はる
御召艦にて殿下に拜謁を賜はる

舳艫相叩で投錨す

舳艫相叩で投錨す
舳艫相叩で投錨す

北條南海岸に

北條南海岸に
北條南海岸に

御退艦に際し

御退艦に際し
御退艦に際し

優渥なる御誼を賜ふ

優渥なる御誼を賜ふ
優渥なる御誼を賜ふ

灯の都京城の街々

灯の都京城の街々
灯の都京城の街々

写真説明

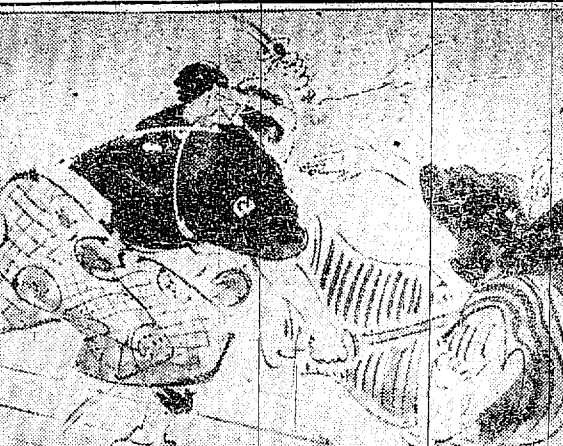
大毎九對仁川零
電火相撃つ未會有の盛観
仁川 九月三日仁川にて
旅館 仁川にて
右腕 仁川にて
第九回 仁川にて
拾得金公告 仁川にて
職業 仁川にて
京城本町警察署 仁川にて

急告
家庭用瓦斯こんろ
家庭用瓦斯こんろ
家庭用瓦斯こんろ
家庭用瓦斯こんろ
家庭用瓦斯こんろ
家庭用瓦斯こんろ
家庭用瓦斯こんろ
家庭用瓦斯こんろ
家庭用瓦斯こんろ
家庭用瓦斯こんろ

病後恢復期に卓効ある
正しき補血強壯増進剤
ブルト
ブルト
ブルト
ブルト
ブルト
ブルト
ブルト
ブルト
ブルト
ブルト

第七十七席 小金井河津講義

小金井河津講義... 小金井河津講義... 小金井河津講義...



小金井河津講義... 小金井河津講義... 小金井河津講義...

寝るに就て

寝るに就て... 寝るに就て... 寝るに就て...

Table with 2 columns: 姓名, 成績. Lists names and scores.

寝るに就て... 寝るに就て... 寝るに就て...

はりの病

はりの病... はりの病... はりの病...

はりの病... はりの病... はりの病...

はりの病... はりの病... はりの病...

ホーカール液... 美人となる道... 着物の襟を汚さぬ... 秋のお化粧には... 美人の悩み... 新うして行く... 効果一級... 全日本化粧品工業会... 東京市神田区大塚... 堀越嘉太郎商店

願はる迄温順し秋子のものになつてゐた。彼は時々秋子の手から露を拭いて他の女へ手からさしたが、秋子の監視の眼が鋭く光つてゐるので、うつかり其方へ手を出すことが出来なかつた。彼を憐れに秋子につて東舞を教へたのだ。彼はその片山を秋子から奪取されてゐることを、初めは面白くなく思つてゐた。初めは傲然と秋子に戀してゐた。秋子の愛を求めたのだつたけれども、その愛が遂に彼に年長の秋子に奪はれること、秋子の年長の秋子の愛の強弱を感服したつてゐる。中にも裸體で、愉快な若い血の沸騰する胸の中に身を浸したかつたのだ。彼はさう

このことが度々だつた。彼は無病無病の裸の裸の裸に押し寄せて來てくれることを、それは若々しい過女の匂ひの中から誘ひ出して、御りて來るさうこの前斬な無垢な娘に望してゐたのだ。秋子に彼女に女には、秋子の愛は餘りに彼女にはあひ、さ過ぎて、心から秋子に奪はれる境地に飛び込むことが出來なかつたのだ。さうして、他に秋子に更に一程の女もなく、上にも秋子に奪はれたものがあつた。秋子の胃腸が鋭く鋭く

なるので、暫くして彼は二つになつた。それで動くは二年迄の秋子との戀を捨てて、無罪に平凡に今日迄來てゐたのだ。



した顔をして、その顔を涙に濡れ、求めたのだがつ、彼が、
 なること、さうした相手を見出さなかつた。彼の周囲には多
 の若い女がうようよする程あり、つてたかつては来たけれども、
 して、その誰を自分の新しい戀の對象として好むか、その腕に
 纏着すると思ふ程の女が、いつか見出すことは出来ない。彼の
 血を煮やし、彼の骨を肉を食つた。はせるやうな女性に、容易に早
 附かなつた。何の女も秋子に比しては月の前の盤程にしては
 見えない。その容貌にしても、その才能にしても、その態度に
 ても、その地位、その技巧、それ等、は更に秋子は群を抜いてゐる。
 うちに彼は見た。唯、秋子が彼よりは三つも年上で、もは
 ら、三十を二つも三つも過ぎた。若者の彼に屬する秋子の年
 老の、彼から見て、姉さんか小娘さんのやうで、それが何うも麗しうながつた。さうした、
 だつたが、今日突然、秋子の家に来て、道代の顔を見た時、何かに知ら、ハッとした衝動を感じたのだつた。それで、思はず道代の顔を、もう一度見直した。が、彼は見てゐる中に心が露へる聲で道代が好きになつた。
 何で、彼の好きなやつだ。彼が何年か探求してゐた女が、初めて現れて来た。彼の女が来た。これこそは俺のものだ。此女こそは俺の求めたものだ。此女を乗せて、此の女に行かぬ何かなやない。フ、初めて俺の女に廻り逢つた。
 さいふやうな氣がしたのだ。併し、さう彼は心中で、強く感してゐるに拘らず、最上した表情は外に現れてゐた。彼は靜かに眼を道代から、
 九月 染物の みのや京染店 最短期 櫻井屋 一四六番 へて、櫻井屋へ、櫻井屋へ、そして低い聲で道代に云ふ

[illegible]

京東青木町三丁目
 品量 山城園茶舗
 本位 電話一九九四
 振替京東九七七八番
 「さうなのよ、貴婦人は此の人が
 幽会をやるの好ま思つてゐるで
 秋子には胸な笑ひをして
 厭ひの聲、來て呉れへす
 佛し女御でも好
 御表具師相出雅堂
 特に入念願出仕
 時内簾珠手合

通信戰譜(三)

先勝 高橋藤作 (京筑)
上原即立

四〇六
四八八
一〇

のいなりです。誰にもつて、
けがない。さうして秋子は道
代を招寄せた。

内科小兒科
皮膚科藥料

永樂醫院

今村純一君
京城永樂二ノ七
電話 本願寺五
四九四番

川柳 劍花堂

▲附記 六日となり満ちしも

大端も豫知に備へた。道 不知切
十年が五六歳來るこしも也
十年前をいはれて頭を撫で
十年の友にものを乞ふ
京城 悠遠
淋しきは十年前をふりへり
所金帳 十年後の夢を見る
平 梁 楚 江
十年にきまへた雲に胸が鳴り
昔學十一年金紋の車なり

物理療法

東城目現代雜報

○御存じですか？
今また知らぬ人は是非正解
命惜つた病院に生れられた
品 珍 る 顔

○女共に必要な品々：○服方○下着○化粧○髪飾○履物○目下紳士流行の服

○女共に必要な品々：○服方○下着○化粧○髪飾○履物○目下紳士流行の服

[illegible]


もろ花
 は府内南門外二丁目
 八雲地帯の宅に住居


人谷かゆ
 小町交差路角
 小町交差路角
 小町交差路角
 小町交差路角

月経の
 作用
 月経の
 作用
 月経の
 作用

月経の
 作用
 月経の
 作用
 月経の
 作用

一、敬請、賜教、致、す、つ、た、の、ま、れ、た、生、々、
 仁、川、間、に、近、い、所、で、家、族、的、に、下、宿、な、さ、
 東京本町四丁目 木村眞三
 新橋天町三丁目 藤田眞
 信濃市四谷区 森田屋本庄
 新橋東区五三六二五

[illegible][illegible]

海へ山へ温泉へ

お持ち遊ばすた道具は
弊店の簾バスケットの中へ

簾バスケット製造元 荒川商店

資 本 金 五 十 萬 圓

株式朝鮮商業銀行

電話 五八八番 支店 一五五〇番 支店 一六二四番

專務取締役 岩崎 虎次郎

本 庄 支 店

本 庄 支 店

東京 本 庄 支 店

東京 本 庄 支 店

早公 換他

胃の平和會議

數多の胃は集りて云へり、我等若し消化不良、溜飲、胃痛、下痢等の外敵に悩まらるゝあらば宜しくホシ胃腸薬に命じて國土の確立を完ふすべしと。

胃病良藥

ホシ胃腸薬

赤い罐

定價
五十五銭
四八銭

東京回

星製藥株式會社

攜帶用には

ホシ胃腸錠

あり